

# 舵輪

## 変遷の通信

『あこがれ 一九九六航海型(小笠原航海)編』一九九六年八月二八日〜九月九日(一二泊三日) No.9631

No.267 酒井 聰

3. やっぱ、夜空は最高! 八月三日 日 天気 晴れ

ワッチは、一日(二四時間)を四時間ごとに六つの時間帯に分けて交代で、ずっと船を操作することです! 0 4 (ゼロヨン)、4 8 (ヨンパー)、8 0 (パーゼロ)と言って区別している(専門用語、覚えて)。それで、セーラトレインイングってのはわがままいっちゃいけないの! 参加者は、トレーニーって言うんだ! じゃ、いつ食べて、寝るか? 基本的に、ワッチからワッチまでの八時間の間に食べて、寝て、シャワーして、洗濯するの(だって一三日もいます)。でも、食事当番に掃除当番、朝の体操にミーティングで自由時間はほとんどありません! それがまた楽しんだって!(ホント!笑)

ヘルムスマン...舵取りのこと。帆船では、帆を見ながら(つまり、風を読みながら)船の一番後ろで舵(舵輪)を取ります。行きたい(進む方向)方位をコンパスで見ながら、操舵します。(とても難しい!)あと、タイムベル(三分毎にベルを鳴らす!) 揺れるとかなり難しいんだ! 鳴らす数も毎回違うんだから ナビゲーター...ブリッジ(船橋)でログを記入する! チャートポジションニング(海図に現在位置を記入する)、本当は、進行方向と対水速度で現在位置を書き込むんだけど、今はGPSで現在位置を海図に書き込むので難しい計算はしなくていいんだって! あと気象と海水温を測定します。なぜって? ここは帆船! 自然を知らなきゃいけない

の! 風向きと海水温度で進むコースを決めます!(キャプテンが) 今じゃ、気象も通信で送られてきますし、内地のニューズもTELFAで受信できます。インマルサットで、インターネットも可能(莫大な通信代がかかります) ルックアウト...見張り番、むかしはレーダーも衛星も無いので一番前で冰山! にぶちあたらないように用心! あと三〇分毎にヘルムに大声で大丈夫の合図を叫ぶ! オールズ・ウエル・サー! と風上(ウエザー)側からヘルムまで大声だそうぜ! スペア...つらいワッチのためか、ここで休憩時間、でも完全休憩ではない。帆の操作があり、ずとロープを引くことになつたらもう大変、ヘトヘトになつてしまふんだ! でもね、風も安定して、方向を変えなければずと待機。水平線を眺めて思いにふけるのもよし、夜空を眺めて涙...特に夜は陸上の生活と違って船上では、照明を使わない。つまり、真っ暗! (地図やコンパスの照明はあるけど) じゃ! なにも見えないかって? それが慣れると星明りでちゃんと見えてくるから不思議! 曇りでもちゃんと見える。進む帆船がかきだす波に、夜行虫がはかない光を放つ! うん神秘的な光と夜空の星。一度見たら、ハマっちゃうぞ!

4. あらくれ、台風之余波 八月三日 日 天気 晴れ

船酔いだつたトレーニーたちも少しなれてきたようです。酔うと動きも鈍くなり、積極性もなくなり、ふさぎ込み易くなる。船酔いを克服するには、吐いても吐いても、食べること! 特に水分はかならず取ること! バテると動けなくなつてさらに体が辛くなつてしまふ! あとは、動くこと! そうやって早く体を慣らすんだって! うんやっぱり辛いんだよ! 今日、台風一四号の余波でうねりが高い! 四、五mはある。すると、あこがれは左に三六度、右に二四度と傾いた! そのままじゃ、立っていられない、こけるけど、食事や生活は、揺れながらもちゃんとできる! これまた不思議。もちろん、食事は手で押さえないとガチャ

ンとなります。寝るときは、みなさんも枕で頭を高くして寝るでしょ、だから、ボンク(ベッド)じゃ高い方に頭をおいて寝ます。北枕にこだわっちゃうダメ(船は東西南北どっちでも向く)。さらに、帆に風を受けてるので、いつもどつちかに傾いて寝てる時に風向きが変わって頭が下がつてしまふこともしばしば、あるんだ。ところが、慣れると寝ながらちゃんと頭の位置を替えるんだって! 信じれる? (28 09.54N, 138 02.71E, 180, 9.6km 母島まで約二五〇km、ポータブル GPS By マゼラン) (次号に続く)

## SPENCER: THE MAIN BRACE

『MAN THE YARD』 登橋礼

岸壁から船がゆっくり離れたところで、「登橋礼用意」の号令がかかる。白い作業服の実習生達が自分のマストの下に整列し、次々とかかる号令に応じて一糸乱れぬ動きで登つてゆく。ヤード上にきれいに並んだ実習生、デッキ上に整列した士官と乗組員。笛の合図にあわせた敬礼。まわりの音がすべて消えた静寂の中、号令と笛の音だけが響く。

敬礼が終わるとバウスプリット先端に立つ実習生が向きを変えて叫ぶ。「脱帽」そして胸にあてた帽子をいっせいに振り上げながら、「ごきげんよう」の大喝唱。岸壁の上の人混みからは歓声とともに拍手がわき起こる。いつ見ても、何度見ても感動する場面だ。そして登橋礼を終えた実習生が降りてくる頃には、船は船首を港口に向けゆっくりと動き出す。汽笛を残しながらだんだんと小さくなる船の姿は、あつという間に飛び去つてしまふ飛行機や新幹線などの別れと違い、別れの余韻が残る。登橋礼は英語で「MAN THE YARD」ヤードに人を配置することを意味する。すべての乗組員をヤード上に登らせ、大砲を扱うものがデッキ上にはまったくない、つまり敵意が無いことを表したものだといふ話を聞いたことがある。

にはなかつた慣習で、西洋の海軍で行われてきた儀式である。また、登るマストがない最近の船で行われる登艦礼は、かつての帆船時代の登橋礼の名残である。日本で登橋礼が行われるようになったのは最近のことである。昭和二八年日本丸が帆装復旧し初めての遠洋航海が企画されたとき、敗戦後初めての遠洋航海とあつて船内規律のあり方が問題となつた。そこで各国の海軍礼式や国際的慣習を調べ、これに準拠して再編成された。このとき初めて登橋礼も採用され現在の日本丸海王丸に受け継がれているのだそう。ただし、航海訓練所では安全を考え、ヤード上に立つのではなく、フットロープに足をかける方式となつた。

さて、海軍英語辞典によると登橋礼とは、最高位の公式儀礼であり国王など国家元首に対する敬礼である。また旧海軍時代に国家行事などの祝典として実施されたとある。つまり滅多なことでは行われなかつた礼式だつた。

スコッチの銘酒にROYAL SALUTEという酒がある。国王に対する敬礼という名前である。国王に対する敬礼は先に述べた登橋礼の他に、軍艦では二一発の礼砲を撃つ。これにちなんでこの銘酒も二一年ものスコッチである。これも滅多なことではお目にかかれぬ代物であつた。しかし最近では酒税法の改正や安売りの店のおかげで以前に比べると安くなり、味わう機会も増えた。帆船の登橋礼も最近では寄港地ごとに行われ、ずいぶん目にする機会も多くなつた。小生が海王丸の実習生だつた頃は、遠洋航海出航となる東京と神戸、あとはハワイだけに登橋礼は行わなかつた。それだけに気合が入つたものである。

酒の安売りの是非を問われれば、間違いない。「是」である。登橋礼のおかげで帆船ファンが増え、海事に興味を抱く人が増えればこれまたありがたい。ただ、売れすぎて乱造したために質が落ちてしまつた某日本酒の様にならぬことを祈るばかりである。

I M O

# 舵輪

## 空ぶっツキの甲羅干し

早春の候 春一番が吹き、雪化粧から厚化粧(外板塗装)へと季節が移っていく中、少し暖かくなってきたので久しぶりに凹甲板でぬくぬくと日光浴をしていたら、前部航海船橋前面から小生めがけて氷柱が落ちてきた。ふと我に返り、「ここは何処? 私は誰?」と慌てふためくが、マストの陰には警備員しかいない。春になり、暖かくなると、緊張感が緩みボケやすくなるそうです。私の場合、何かをしようとして目的地に到着すると、「はて、小生、いったい何をしよう」としていたのか?」としばらく考えることがよくあります。この原因について、最近、思い当たる節があります。・・・高校野球部時代、やつとの思いで最強のバット・スイングにヒントを見出し、大きなガラス戸に自分のフォームを映してみようと急いでその場に走っていったところ先客(バトミントン部)がいた。どいてもらうにはわがまますぎるので、仕方なしに、近くにあるもう一つの場所です。付近に置いてあったベンチプレス一式を、パールが乗った状態で動かそうと横着したのが、後の私の運命を変え結果?となった。(プロ野球選手から船員へ)・・・この現場に到着したときのシヨックが、何らかの形で現在のワーブ現象として現れている気がします。

## 係がら

アンケート調査  
前号舵輪送付時にお願したアンケート調査への御協力、ありがとうございます。さて、今回提案した新事業(案)の主たる目的は、あくまでも海事思想の普及と高揚です。展帆ボランテア各々の、日頃から「やってみよう」「こうして欲しい」と思っていることが、総帆展帆以外に、財団の事業目的に一致し、無償の協力を得られるのであれば実現に向け更に検討を進めたいと考えています。よって、前年夏季に実施したアンケートの自由意見・要望を基に今回提案した活用方策(案)全てが実現することに決定している訳ではなく、実行するとした場合、どれくらいの協力が得られるのか、ボランテアの立場から新たにどう感じるのか等を知りたく、引き続きアンケート調査に踏み切りました。現時点では、まだ4割弱の回答率ですので、引き続き集計を行い、新たにいただいた御意見をとりまとめ、新たに予定です。全体として、安

面を最優先に、諸般の事情も考慮しながら慎重に検討を進める所存ゆえ、多少時間がかかりますが、御理解願います。

## ペンディング・セイル

去る三月一日及び二日、天候に恵まれる中、ボランテアの協力を得て新セイル全ての取付を無事終えることができました。点検のため展帆したところ、その白さにしばらくの間目がやられる程の眩しさでした。これで展帆準備は完了、あとは当日の参加をお待ちしています。

## ボランテア再訓練

開幕を目前に控え、勸を取り戻すことを目的に左記のとおり練習を行いますので、いずれか御都合の良い日に参加下さい。毎回訳の分からないと思っている操帆号令や、何となくごまかしてきたガスケットの処理等について、説明をします。近年、展帆に参加できなかった方へは基本から指導し、また、高所作業はどうしても不安という方も、甲板上作業の説明を主に聞きに来て下さい。逆に、新人の

域を越えた方へは、技能向上を図るため、やや厳しく指導します。今回の参加者から順番に、今年に限り、数量限定特別Tシャツをお渡しします。

ボランテアの皆さん、いざマストに登ったはいいものの、「オラア何しに登ったつちや?」「ワタシャどこのヤードさいくがけ?」てなことにならないよう、お互いに気を付けましょう。

作業服・作業帽の交換  
古くなったものを新しいものに適宜交換します。特に、帽子の内装は安全に関わりますので、その都度教えて下さい。

## あふがき

ある朝のドラマの中で、「一期一会」という言葉が出てきました。この言葉を小生が最初に聞いたのは、小学校高学年時、朝礼での校長訓辞においてです。当時はあまり使い慣れない語句でしたが、ここ帆船海王丸で仕事をしていると、よく考えるようになりました。

我が家では、毎日夜八時半頃、娘の歯の仕上げ磨きに入ります。ある日、いやがる娘を力づくで押さえたから、「強制はいや!」と叫ばれ、その言葉にびっくりしました。また、最近反抗期のためかわざと反対のことをしようとするらしく、悪いことをする前に「ピシヤやる?」と聞いてくるようになったのです。

・・・昔、「最強の若手航海士会」を指していたころ、未熟な小生は仕事のヒントをつかむため、いかに船の上から秘話を聞き出すかを考えていた。夜の反省会(一杯会)を海技の伝承の場と考え、今思うと、後輩達には酒の注ぎ方から話の聞き方まで指導(強制・脅迫)していた。しばらくして、キャプテンが「大分こつているな、なかなかうまいものだろう」と時々、私の肩をもみ、おっしゃるようになった。その意味するところをやつとのこと知ったとき、自分の愚かさを恥じた。尊敬するキャプテンは、別に腕力の強さを自慢したり、私の肩のこりをほぐそうとした訳では決してない。おそらく、「お前のそのような姿勢では後輩達は心からついては来ないぞ」と自己流で静かに諭していただいたに違いない。

「春は別れの季節である。」と言う人がいます。「この方とはもう御一緒することができない。」と思うと残念でならない。

ボランテアの皆さん、白い帆に憧れて展帆活動を始めた頃の気持ちをいつまでも忘れず、作業一つ一つ、けが等のないよう、間もなく始まる総帆展帆に臨みましょう。

移動海洋教室  
「海」は、私たちの暮らして深い関わりを持ちます。よって、二一世紀を担う子供達に、海への関心や知識を深めてもらいたいと考えています。海のように大きな心を持ち、夢と希望に溢れる子に育て欲しいという願いを込めて、今年四月から新たに移動海洋教室を左記(概略)のとおり開催します。

移動海洋教室  
日時 四月二十五日(土) 一八時受付  
会場 ホテル第一イン新湊  
新湊市善光寺18-4  
TEL 0766-824111

# 舵輪

## 退任の挨拶

業務課長 芋生 秀作

平成十年十月に着任以来、皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。九州出身の私にとりまして、富山県は縁遠き地でしたが、海王丸を通して展帆ボランティアの皆様とともに仕事ができ、またたくさんの思い出もでき、今となっては第二の故郷のように感じています。

着任して最初の総帆展帆の時、「ベテラン」の方が多しなと感じたのが、率直な印象です。しかし、皆様の力強い掛け声を聞き、現役実習生に優る気迫を感じた時は、海王丸は本当に富山県に来て良かったなと確信しました。

一年半の間、練習船では経験できない色々な仕事がありました。餅つき大会に鏡開き、海王丸御輿を作った雨の降る中パレードしたこともありました。また、三ツの「と」とんシリーズが富山の、しかも海王丸パークから始まったのも思い出深いイベントのひとつです。しかしなにもするにもボランティアの皆様がいつも喜んで手伝ってくれた、その皆様の笑顔が一番の思い出となりました。

これからはまた、陸上から離れ実習生相手の仕事が始まります。年々、最近の若い者は・・・とよく耳にするようになりましたが、船の厳しさや楽しさ、自然の雄大さを通して、世間の荒波を乗り越えられるような若者を育てて行きたいと思えます。

貴重な経験を贈ってくれた海王丸、そして財団の大きな柱である展帆事業を支えて下さった展帆ボランティアの皆様、厚く御礼申し上げます。

業務課技師 木村 昭夫

「練習船に戻るっちゃー！」

収穫多き富山での勤務を終えるにあたり、ご挨拶致します。

まだ雪化粧する立山連峰を見上げ、日本海を望みながら、平成十年四月に着任しました。以来、展帆活動を通じながら

ボランティアの皆さんと共に楽しく、健康的な二年間を過ごしてきました。北陸での生活は初めてです。何事も経験と各所を見物に行きました。松川べりの桜、入善や砺波のチューリップ、夕日の散居村、縄ヶ池の水芭蕉、呉羽の梨畑、氷見海岸海水浴、ヒスイ海岸……

某新聞の富山百選、そのすべてを目のあたりにすることはできませんでしたがどれも一見の価値以上のものがあり、時間の許す限り北陸を楽しみました。越前ガニや利賀ソバ、新鮮な魚など食に關してもとても満足しました。

富山県の皆様は本人が気づいているの分かりますが、強い郷土愛をお持ちの方が多く、豊富な水や富山湾などの自然に加え、季節ごとの名所があることも要因の一つかと思えます。

海王丸が富山に係留されてから早十年が過ぎ、皆様の熱意に支えられた次の十年を迎えます。帆走ができるだけの装備を持ちながら停泊を続けることは海王丸自身むずがゆい思いをしているでしょうが、多くの方に往年の勇姿を見ていたたくために、今後も安全第一で海王丸の総帆展帆をよろしくお願いいたします。

練習船に戻り航海訓練を続けます。富山湾沖を航海するときには、必ず大型双眼鏡で海王丸を探し、リーダーで立山連峰を映し出し、ボランティアの皆様顔を思い出すことでしょうか。

日々の健康に感謝しながら、「今」を大切に過ごして行こうと思えます。皆様どうぞお元気で。

総務係長 山崎 辰与士

## 着任の挨拶

業務係長 熊田 公信

総務係長

## ボランテア痛信

『あこがれ 一九九六航海型(小笠原航海)編』一九九六年八月二十八日、九月九日(一二泊一二日)No.9631

No.267 酒井 聰

5. ああ、ランドホー母島 九月二日 天候 晴れ

ついに、目的の母島が見えた！ランドホー！昔から、船乗りが辛い航海をして何週間も海ばっかどうにかかなりそうになりながら、やっとのこと陸地が見えたときに言う言葉がランドホーなんだって、さあ、みんなでランドホー！

さて、目的地の母島は、小笠原諸島の二番目に大きな島。もちろん一番は、父島でほかに、兄島、弟島、妹島、姉島、聳(ムコ)島、姪島、なんてものがあるんだ。現在、人が住んでいるのは、父島と母島だけ。このへんは、小笠原の歴史と深い関係があるので、興味がある人はじっくり調べてみてくださいね！

(幕末の移住、戦争に強制撤去、占領そして、返還)



# 舵輪

## 赤十字通信

『あこがれ 1996航海型(小笠原航海)編』1996年8月28日〜9月9日(12泊13日) No.9631  
No.267 酒井 聡

8. 驚き、ソウフ岩 9月5日 天候 晴れ

早朝、午前4時半、もうすぐ 嬢婦岩(そつふがん)が見えるからって連絡が

ありました。何? それなんなの? 海  
ばつかなのに? この辺(東京と小笠原の  
中間ぐらい)海底二千〜三千mぐらい!  
そんなとこに何が? って思ってたけ  
ど、実は海拔100mほどの岩がずん  
と・

あこがれは、嬢婦岩のまわりを5周ほ  
どしてる間に、なんと、マグロやカツオ  
がかつてきた! おかずだ(笑)とて  
も、よい漁場になってるんだって!

みんなもスゲーってことで集まってきた  
した。ちなみに、嬢婦岩は少し大きめの  
地図(海図)じゃないと出てない。また、  
一般の航路からも外れているそう、見  
た人はとつても少ないんだ! ラッキ  
! ありがとう キヤブテン

9. 競え、ゲロリンピック 9月7日  
天候 晴れ

船内生活って慣れてくると単調になっ  
てきちゃうんだな! つまり、起きて食  
事してワッチまた、食事してワッチの繰  
り返しそこで、ちゃんと考えてあつて、  
運動会がある! 名づけてゲロリンピッ  
ク!

まずは、フェイスペイントで選手入場  
です。みんなで、顔中にペイントをしあ  
つておかしい顔になってます。次は、キ  
ヤブテンによる開会の辞(いままで、大  
変だったが、今日は、ワッチのことは忘  
れて大いに楽しんでって内容)そして、  
選手宣誓!(あこがれ精神にのっとりつ  
てやつ!)

いよいよ競技開始、障害物競争。ただ  
でも障害物の多い甲板をさらに、椰子の  
実やデッキブラシ、ホーリーストーンで  
足元が危ない!とこをワッチチームご  
とにリレーです! ちなみに、ワッチグ  
ループは、カペラ、スピカ、リゲルです!

あと、クルーチームとの4チーム対抗  
戦です! 借り物競争は、船内のドコカ  
にある物を探し出してくるんだが、これ  
が見つかんない! ワッチや船内生活を  
ちゃんとしてたら分かるっていうけど、  
うん、無い無い! だれか教えて!!!

いよいよ大詰め! 綱引き! パチパ  
チ! でもね狭いデッキじゃ直線じゃ場  
所を取れないから滑車を使ってV字に引  
くんだ! 2 6ひくぶじゃなくて、せ

のワツシヨイでガンバレ! でも、  
滑車で丈夫だよな!

じゃーん! いよいよ結果発表! ジ  
ヤジャン! 優勝はカペラ! ヤッホー  
優勝じゃー! 優勝のご褒美は外国のア  
イスだ! ちなみに、オーストラリア産  
でした。あこがれの海外航海のお土産ら  
しい。お味はうん大ざっぱな味。他の  
ワッチにもちゃんと分けて食べました!

10. 反乱、トレーニーズデイ 9月  
8日 天候 晴れ

ゲロリンピックが終わり、こんどはト  
レーニーが自主的に行動をきめるトレ  
ニーズデイです! これは、いままでク  
ルーにこき使われていたお返しをする日  
(ウソ)。ってシナリオはなんでもいい  
わけで、やっぱりその予定に! まずは、  
首謀者を決める。ブレインを集めて明日  
の決行の準備を夜中までやってました。  
反乱旗に衣装(笑)を作り、クルーを縛  
り上げる。ロープを束ねて、いよいよ明  
日は・

一夜明けて、なにごともないようにト  
レーニー全員が、いつもの日課に入りま  
した。タンツーに始まり、朝食、クルー  
ミーティング(前日の反省と1日の予定  
の確認)、つつがなく終わろうとした時  
に暴動開始! まずは、トレーニー全員  
が蜂起! クルーを縛り上げ、船を支配  
し、以下を宣言!

トレーニーは、あこがれの理不尽なク  
ルーの処遇に対しこれを排除し、船の自  
由を獲得した!

ついに、あこがれに自由が解放された!  
すぐに、フルセール(帆をすべて張る)  
を始め。もちろん、安全を考慮し、人  
質のクルーの指示を仰ぎ?作業開始。  
△安全第一自由に向かった!

さて、フルセールになったところで、  
いったん緊張を解除して、各自自由に!  
(ちゃんとワッチ当番はいる)クルーに  
恨みを晴らす?もの、マストに登り写真  
撮影、船の警笛を鳴らして、ピツクリす  
るもの(大きな音!)お昼は、デッキで  
日向ボツコしながら、お食事会! うん  
ん! あこがれならではのこと、まさに  
クルーズ! 水平線を眺めながら、今ま  
での苦しかったことや、辛かった日々を

# 舵輪

思い出し語り合う！ 実にロマンチック！ 航海で芽生えた恋は、まもなくについてしまう切なさに一層・・・

さて、シナリオに戻り、縛り上げていたクルーの一部逃げだし、事もあろうか、船の一部を爆破してしまい、船を退去せねば！ 退船部署スタート！ 例のボートを組み立て10名づつ船を下りて、あこがれを1周する。このときがあこがれの帆走をじっくりと見ることが出来る、唯一のチャンスです！ トレーニズデイならではの事！ あこがれの雄姿が太平洋を滑っている姿は、あなたそりやゝ素敵ですよ！（短い航海ではできない！）これぞ！ 帆船！ 感動ものです！

退船部署について補足。船舶ではその運行の安全性を高めることを目的に緊急避難訓練（操練）があります。たとえば、火災になったときの消火と退避や、浸水時の対処など。海中転落時の手順を以下に示します。

1. 発見者はすぐに大声でクルーに知らせる。
  2. 海中転落者を見失わないように、マストに登り、指で方向を示す。
  3. ライフブイなどの浮力をもつものを海に投げ込む。
  4. 船内への連絡は船内マイク放送にておこなう。
  5. 帆走時はただちにセイル・ステーションにつく。
- つまり、見つけた人は大声で叫びながら、マスト（高所）にのぼり、転落者の方をずゝと指差すことです。しかし、船は急ブレーキをかけて止まるって事はできない。船舶は、その重量と水との抵抗では、直ぐに停止できない。たとえ、スクリュウを逆に回しても大きな慣性ではダメです。ましてや、帆船では風で進んでいるため、帆を畳むだけでも時間がかってしまいます。だから、帆船に乗ったら転落しないようにどこにでももたれかからない事！ 揺れた拍子にドボンとなります！（お、コワ！）
- ところで、トレーニズの反乱は予定を早めて退船部署で鎮圧！ あわれ、首謀者は船底に拘留されてしまいました！ ちなみに、シナリオでは抵抗の後、命を落とす、海にレッコされるはず？ でした。

夕方に、初日と同じ、四国徳島の橘湾沖に投錨。少し長めの航海では最終日の前日は入港する近くで安着を祝う会（パーティー）をするのが習わしです？ 今夜は、ワッチごとに出しものを決めて演芸会です！ 各ワッチごと、歌を歌ったり、寸劇を披露したり、ゲームをしたりして、最後の夜を名残惜しそうに過ごしました。（次号に続く）

SPICING THE MAIN BRACE

カイル・マシの申羅士

係から

K A I W O M A R U

# 舵輪

## 赤十字通信

『あこがれ 1996航海型（小笠原航海）編』1996年8月28日～9月9日（12泊13日）No.9631  
No.267 酒井 聰

11. ねむい、雨の中の下船

ついに、航海も最後の日となりました。大阪南港に戻るコース、トレーニー全員であこがれのお掃除！ 各ボンクから、

食堂、シャワー室、トイレに廊下、階段そしてデッキを磨く！ コースは関西国際空港の横を通り途中、連絡船が近くまでよつてきたりしてました。また、このときトレーニー達はかなりナーバスになつて？ いました。航海での思い出と、これからまた立ち向かう現実の日々を考えるもの、さまざまだけど、この航海で体験したことは、各目の生活のなかでは、小さな思い出かもしれないが、ズシツとした重しになるのでは！

船内での後片付けも終わり、メスルムに集合したところで、キャプテンより乗船記念の修了証の授与です。航海距離は1541海里です。（内237海里を帆走しました）トレーニーたちは、お互いに住所をノートに書き込んだり写真を撮ったりして、これで本当に最後なんだねと確認してうつすらと涙を浮かべるものもいたような？ 雨の中、クルーは南港に接岸準備に追われていました。さて、ついに下船の時がやってきました。クルー達に見送られてトレーニー達はあこがれを後にゆつくりと下船です。

また、いつか乗船すると心に誓う者、すでに次の乗船の申込を済ました者、たぶんもう乗らないだろう者、また、乗船体験をこれからの人生に何らかの形で生かす者、また集う者、笑う者、涙する者、それぞれのトレーニーの姿がありました。それまでは、とても体験できないと思つていたり出会いはおおいに感激したことを思い出として大切にしていこう！ さらに、同乗されたトレーニー達と、クルーの面々に感謝！

（おわり）

# K A I W O M A R U